

# 学校評価（生徒・保護者）の考察

北区立王子桜中学校

文責 副校長 名取

令和6年1月

＜実施内容＞ 対 象：生徒全員、保護者全員  
実施期間：令和5年12月11日～令和5年12月22日  
回 答 数：生徒 464名（90%） 保護者 244名（51%）

## 結果の分析

### 【学校生活は楽しいですか】

○93.9%の生徒が「学校生活がとても楽しい、楽しい」と回答し、6.1%の生徒が「あまり楽しくない、楽しくない」と回答した。また、94.1%の保護者が「学校生活を楽しく過ごしているように思う」と回答した

◇「とても楽しい、楽しい」と回答した生徒は、全校生徒対象で見ると昨年度より3.8ポイント増加し、「あまり楽しくない、楽しくない」と回答した生徒は、3.8ポイント減少した。学年別で観ると1年生が94.7%、2年生が91.4%（昨年度比+1.3ポイント）、3年生95.1（昨年度比+3.1ポイント）であった。新型コロナウイルス感染症が5類に分類され通常の学校生活に戻った。学校行事の体育祭、文化祭、また、学年行事（宿泊行事、校外学習等）の開催が危ぶまれることもなく実施できたこと、また、そもそも感染症から解放されたことが学校生活への充実に繋がったと思われる。とくに体育祭、文化祭でのたくさんの観戦者、見学者（保護者、地域の方）が大きな励みになったと考えられる。今後も生徒が主役となり、主体的な活動からくる達成感や成就感、友達と協働する楽しみを得られるような教育活動をすすめていく。

### 【きたコンの活用や話し合い活動（ペア活動やグループ活動等）が授業や学習内容の理解につながっていますか】

○「つながっている、だいたいつながっている」と回答した各教科の平均は83.9%であり、「あまりつながっていない、つながっていない」と回答した各教科の平均は16.1%であった。（この質問項目は今年度より実施）

◇教科別に観ると国語と社会で90%を超えている。英語、保健体育、技術・家庭科では80%後半の数値が出ている。

学年別に見ると1年生は86.6%、2年生は74%、3年生は86.4%であった。きたコンの導入3年目になり、教師は活用について様々な工夫をしている。今後さらに活用が定着することで主体的、対話的で深い学びや個別最適な学び、協働的な学習がすすみ、学習理解度、定着度はさらに高まることが期待できる。

「あまりつながっていない、つながっていない」と回答した生徒が16.1%おり、各教科においてさ

らなる工夫が必要である。

【悩み事や心配事や困ったことがあるときに担任の先生や学年の先生は相談しやすいと思いますか】

○77.8%の生徒が「そう思う、やや思う」と回答し、22.2%の生徒が「あまり思わない、思わない」と回答している。(今年度新たな項目)

【悩み事や困ったことがあるときに周りの人に相談したり、助けを求めたりできていますか】

○83.7%の生徒が「できている、だいたいできている」と回答し、16.3%の生徒が「あまりできていない、できていない」と回答している。(今年度新たな項目)

◇思春期と言われる中学生は、学習、友達関係、部活動、進路、家族のこと等、様々な悩みを抱えている。その状況を踏まえ本校では外部講師に依頼をし「SOS出し方研修」を教職員対象、生徒対象に行った。また、多くの教員が休み時間等に生徒のそばに寄り添い接する機会をつくっている。

「あまり思わない、思わない」と感じている22.2% (16.3%)の生徒に対して、さらに気軽に相談できる関係づくりと環境づくり(SC、SSW等他機関との連携)と助けを求めることは解決のための第一歩であるという認識をもたせる指導を継続して行っていく。

【友だちと楽しく過ごすことができていますか】

○97.1%の生徒が「とてもできている、だいたいできている」と回答し、2.9%の生徒が「あまりできていない、できていない」と回答した。また、93.3%の保護者が「そう思う、少しそう思う」と回答した。

◇「とてもできている、だいたいできている」は、全校生徒対象で見ると前年度比で0.8ポイント増加した。学年別で見ると1年生が97.7%、2年生が94.6%(昨年度比+0.7ポイント)、3年生が98.4%(昨年度比+1.6ポイント)であった。昨年度に続き、各教員の対話を大切にしたい心に響く寄り添う指導や、授業、行事等での協働活動が生徒同士の人間関係にも良い影響を与えていると言える。

しかし、区に報告したいじめ件数は4件あり、SNSに関連した友人関係のトラブルも数件発生している。また、「あまりできていない、できていない」と感じている2.9%の生徒に対しての配慮を忘れてはならない。家庭との連携をさらに密にしていくとともに学年教員だけでなく多くの教員で見守り、気になる生徒がいたらすぐに声掛けをしていく。さらに、積極的に学級経営支援員やスクールカウンセラー、学校と家庭の支援員、学生ボランティアの支援、見守りも活用していく。

【学校生活では決まりを守ってきちんと生活できていますか】

○98.2%の生徒が「とてもできている、だいたいできている」と回答し、1.8%の生徒が「あまりできていない、できていない」と回答した。また、90.7%の保護者が「そう思う、少しそう思う」と回答した。

◇「とてもできている、だいたいできている」は、全校生徒対象で見ると昨年度比で1.6ポイント増加

した。学年別で見ると1年生が96.2%、2年生が99.3%（昨年度比+7.6ポイント）、3年生が98.9%（昨年度比-0.6ポイント）であった。3学年ともに非常に高い数値が出ている。

学校の荒れはルール違反から始まり、学校生活に慣れてきた2年生からその兆候が現れてくる。しかし、本校では2年生においては100%に近い数値が出ている。中堅学年が落ち着いていること到来年度も安定した教育活動が実現できると確信できる。生活指導上問題のない落ち着いた学校生活が意欲的な学習活動や学校行事等につながっている。

#### 【委員会や係りの仕事をきちんとできていますか】

○94.4%の生徒が「取り組んでいる、だいたい取り組んでいる」と回答し、5.6%の生徒が「あまり取り組んでいない、取り組んでいない」と回答した。また、88.6%の保護者が「そう思う、少しそう思う」と回答した。

◇「取り組んでいる、だいたい取り組んでいる」は、全校生徒対象で見ると昨年度比で0.4ポイント減少した。学年別で見ると1年生が91.6%、2年生が91.5%（昨年度比-0.2ポイント）、3年生が98.3%（昨年度比+1.5ポイント）であった。若干減少しているものの今年度も委員会や係り活動に対する責任感が一定の学年に留まらず全校に広がっている。今年度も多くのクラスで係・委員会決めは立候補で決まっている。

#### 【行事は楽しく取り組みましたか】

○95.5%の生徒が「取り組めた、だいたい取り組めた」と回答し、4.5%の生徒が「あまり取り組めなかった、取り組めなかった」と回答した。また、95.3%の保護者が「そう思う、少しそう思う」と回答した。

◇「取り組めた、だいたい取り組めた」は、全校生徒対象で見ると昨年度比±0ポイントだった。学年別で見ると1年生は91.7%、2年生は96.1%（昨年度比+3.7ポイント）、3年生は97.9%（昨年度比+2.7ポイント）であった。3学年ともに高い数値が出ているが、学年が上がるにつれて数値が高いのは行事の意義や楽しさを理解しており、始まる前から大きな期待感をもって望んでいるためだと考えられる。また、毎年のことではあるが、実行委員会を中心とした生徒主体の行事が3年生の達成感や充実につながったと考えられる。

#### 【部活動は充実して取り組んでいますか】

○82.7%の生徒が「取り組んでいる、だいたい取り組んでいる」と回答し、7.8%の生徒が「あまり取り組んでいない、取り組んでいない」と回答した。また、84%の保護者が「そう思う、少しそう思う」と回答した。

◇「取り組んでいる、だいたい取り組んでいる」は、全校生徒対象で見ると昨年度比で2.3ポイント増加した。学年別で見ると、1年生が86.4%、2年生で79.9%（昨年度比-2ポイント）、3年生で82.2%（昨年度比-2.9ポイント）であった。2年生が-2ポイントとなったことについては、毎年のこと

ではあるが、学習塾や習い事との両立が難しくなることが理由として考えられる。また、3年生がー2.9ポイントとなったことについては受験を控え最後の大会前に引退した生徒がいたためと考えられる。

本校部活動は運動部だけでなく文化部も活発に活動している。園芸ボランティア部は、生徒会が協力して一般生徒に呼びかけ、屋上菜園や落ち葉掃き等のボランティア活動を行った。また、吹奏楽部、科学部も地域の児童館、学童においてボランティア活動を行った。

#### 【きたコンは決まりを守って使っていますか】

○96.9%の生徒が「できている、だいたいできている」と回答し、3.1%の生徒が「あまりできていない、できていない」と回答した。(生徒のみのアンケート項目)

◇「できている、だいたいできている」は、全校対象で見ると昨年度比2.1ポイント増加した。学年別で見ると1年生は95.5%、2年生は94.6% (昨年度比+4.5ポイント)、3年生は99.4% (昨年度比+2.6ポイント)であった。昨年度は不適切な使用について(制限されているはずのサイトにアクセスしてしまうことや授業中、休み時間中のゲーム、動画視聴や不必要なネット検索等)の指導があったが、きたコンはあくまで学習道具であるという意識をもって使用するようになったと言える。

#### 【きたコンを家庭学習で有効に活用していますか】

○63.7%の生徒が「できている、だいたいできている」と回答し、36.3%の生徒が「あまりできていない、できていない」と回答した。保護者アンケートの「きたコンを授業や家庭学習で有効に活用していると思いますか」について、「そう思う、少し思う」と回答した保護者は79.8%、「あまり思わない、思わない」と回答した保護者は20.2%であった。

◇「できている、だいたいできている」は、全校対象で見ると昨年度比2.6ポイント減少した。学年別で見ると1年生は63.6%、2年生55% (昨年度比-12.5ポイント)、3年生は69.8% (昨年度比+5.6)であり、家庭学習でのきたコンの有効活用については引き続き来年度に向けての大きな課題の一つである。きたコン内で宿題プリント(長期休業中の課題含)を提出させたり、定期考査前に学習動画アプリの視聴を促したりしていく。

家庭学習での活用について教員内で活用方法を共有し生徒に還元していく必要がある。

#### <その他の保護者アンケート>

#### 【保健室やカウンセリングルームは生徒の心身の成長に役立っていると思いますか】

○85.2%の保護者が「そう思う、少しそう思う」と回答し、14.8パーセントの保護者が「あまり思わない、思わない」と回答している。

◇「そう思う、少しそう思う」は、昨年度比7ポイント増加した。近年の生活指導の特徴は表面に出てくる問題行動ではなく、生徒の内面に根差した精神的な問題があげられる。今年度も教職員向けSOS出し方研修、生徒向けSOS出し方研修を行った。生徒には、周りに支援や助けを求めること自体が自

立であり、大切なことであるという意識を育てていく。

保健室はSOSをキャッチする重要な場所となっており、養護教諭が直接話を聞いたり、カウンセラーへとつなげたりしている。本校のカウンセラーは3名おり、分担して保護者や生徒対応、生徒観察をしているため支援体制は充実している。保健室、カウンセラールームは生徒のみならず保護者の精神的な安定をはかる場所となっている。

**【給食は栄養バランスを考えて実施されていると思いますか】**

○98.7%の保護者が「そう思う、少しそう思う」と回答し、1.3%の保護者が「あまり思わない、思わない」と回答している。

◇「そう思う、少しそう思う」は、昨年度比2.4ポイント増加した。83.5%の保護者が「そう思う」と回答している。本校保護者の学校給食への大きな信頼が伺える。今年度4年ぶりに給食試食会を行い多くの保護者に試食してもらったことがより良い給食理解へとつながったと言える。第二次発育促進期にある中学生にとってバランスの良い食事は不可欠である。来年度も健康で安全な給食を提供していく。(行事食、郷土料理、世界の料理、2学年家庭科献立給食等)

**【個人面談や保護者会等でお子様の様子が十分に伝えられていると思いますか】**

○94.5%の保護者が「そう思う、少しそう思う」と回答し、5.5%の保護者が「あまり思わない、思わない」と回答している。

◇「そう思う、少しそう思う」は、昨年度比1.5ポイント増加した。今年度、新型コロナウイルス感染症が5類になり、三者面談、保護者会だけでなく土曜授業、体育祭、文化祭等ではたくさんの保護者の方にご来校いただいた。生徒にとっても非常に励みになったと感じる。今後も「開かれた学校王子桜」として保護者や地域の方にご来校いただく機会を設定し、生徒の活躍する姿を見ていただきたいと切に感じる。

**【学校・学年だよりや王桜中ブログで保護者に適切な情報提供がされていると思いますか】**

○93.6%の保護者が「そう思う、少しそう思う」と回答し、6.4%の保護者が「あまり思わない、思わない」と回答している。

◇「そう思う、少しそう思う」は、昨年度比で0.2ポイント増加した。思春期になり、生徒もなかなか家庭で学校生活について話さないことも予想できる。だからこそ、学校だよりや学年だより、王桜中ブログで生徒の活動の様子、活躍している様子をお知らせし、家族団らんの一助になればと考えている。